

令和4年度 第2回金沢市屋外広告物審議会 議事録

■ 日 時 令和5年2月24日（金） 14時00分～15時10分

■ 場 所 金沢市役所第一本庁舎7階 第1委員会室

■ 出席者 15名中12名出席

氏名	所属・職名	備考
浅田 久太	金沢市観光協会 理事	欠席
荒木 恭子	石川県建築設計監理協会 専務理事	
飯田 栄治	金沢学院大学 教授	副会長
北村 賢哉	金沢美術工芸大学 教授	副会長
坂田 徹	石川県警察本部生活安全部生活安全捜査課長	代理
沢田 史子	北陸学院大学短期大学部 教授	
竹内 憲一	石川県土木部都市計画課長(兼)景観形成推進室次長	代理
土田 佳弘	石川県屋外広告業協同組合 常任相談役兼理事	
寺井 剛敏	金沢美術工芸大学 教授	会長
中島 祥博	金沢市商店街連盟 会長	
中出 健作	弁護士	欠席
廣川 佳正	石川県屋外広告士会 会長	
福岡 澄子	公募委員	欠席
宮下 智裕	金沢工業大学 教授	
村井 万利子	公募委員	

- 次 第
1. 開会
 2. 報告案件 今年度の取組状況
 - 1) 特定屋内広告物の規制強化（条例改正）
 - 2) 屋外広告物ガイドライン改定
 - 3) 海側幹線供用開始に伴う禁止地域の指定
 - 4) 許可・審査等状況
 - 5) 指導・是正状況
 - 6) 周知啓発
 3. 意見聴収 次年度の取組予定
 4. 広告物の掲出状況について（非公開）
 5. 閉会

■ 会議内容

1 開会

2 報告案件 今年度の取組状況

(事務局 資料に沿って今年度取組状況1)～6)について報告)

【会 長】 質問や意見、感想等あるか。

【K委員】 のぼり旗について、延べ 461 件訪問され、適合していない場合はその場で是正依頼とあり、素晴らしいと思うが、適合・不適合の割合など教えていただきたい。

【事務局】 傾向としては、安全上の基準に適合していないものが3分の1程度、景観上の基準に適合していないものが6分の1程度、重複もある。その場で直して下さるが、出したり片付けたりが容易という特性のため、次回訪問時には雨で掲出されていなかったり、前回なかったものが、新たに掲出されたりと、颯ごっこの側面もある中、根気強く巡回していく必要がある。

【B委員】 「屋外広告物ガイドライン」が刷新され、紙版の配布では届きにくいケースがあると思うが、HPからダウンロードできるか。

【事務局】 PDF版をHPに公開済である。広告業者は内容をわかっていることが多く、むしろ、クライアントへの提案時に見せながら説明することなどを想定している。紙とデータと、便利な方を使ってもらいたいと考えている。

【L委員】 県外企業は、金沢の景観に合うようこちらの意見を尊重してくれるのか。あと、増泉にある店舗は、以前派手だったが、落ち着いた色彩になり、こういうふうになってもちゃんと存在感があるし、意見を聞き入れてくださるのはいいなと思った。県外企業は何パーセントぐらいがこちらの意見を尊重してくれるのか。

【事務局】 具体的な数値はないが、市内・県内事業者と比べれば県外事業者のパーセンテージは下がると思う。広告行政は全国で取り組んでいるが、かなり濃淡がある。数値基準でいえば金沢市は厳しい部類に入るかも知れないが、戦災に遭っていないが故の道幅等に適した大きさになっているということ。そうした数値基準に加えて、場所性に適した色彩等への変更をお願いするわけだが、相手方にそうした意識がない場合は、時間がかかることになり、なかなか聞き入れていただけない場合もあるため、1件1件丁寧にやっていく必要がある。

【会 長】 報告案件にあった広告景観協力賞にあったように、全国展開の事業者がブランドイメージを金沢に合わせるといった動きもあり、金沢に進出する際、景観に配慮しないとイケないということが少しずつ浸透している状況かと思う。

【E委員】 非常に素敵な屋外広告物ガイドラインになった。HPにアップされているとのことだ

が、一般の市民がなかなかHPを調べることまではしないと思う。先ほど特定エリアで班回覧している話もあったがエリア外では見ていない。せっかく景観を守る素敵な活動をしているので、例えば市公式LINEなど、市民に対する周知はどうしているか。

【事務局】 市民の中にも色々な意識の方がおられる、まちなかと郊外、転居して来られた方の意識など。そこで色々な機会を捉えて周知を図っている。例えば今週末、景観サポーターという市民ボランティアによる2年間の活動報告会がある。そうした機会や、かがやき発信講座という出前講座、市公式LINEも含め、様々な機会を捉えて発信していきたい。

【G委員】 特定屋内広告物の規制強化やのぼり旗の指導は、今、説明を受けていると普通のことのように思うが、実は全国でもここまでやっているところは金沢市ぐらいしかなく、最先端を行っていると思う。これは行政が、1件1件丁寧に対応してきたことが功を奏してきたと思う。おそらく、全国の自治体も金沢市に倣い、のぼり旗の規制や屋内の規制が順次進んでいくのではと思っている。

【会長】 行政だけでなく、土田委員はじめ、業界の理解と協力ができないことであり、市民、行政、業界が協力して、金沢の景観がいい方向に進んでいると思う。引き続きよろしくお願いしたい。

3 意見聴収 次年度の取組予定

【会長】 次第3 次年度の取組予定について事務局から説明願いたい。

(事務局 資料に沿って次年度の取組予定について説明)

【会長】 景観誘導に一層注力するという話と、まちの格を高める広告物にフォーカスを当て、調査やアーカイブをしたいという話があった。アドバイスやご意見等あるか。

【J委員】 金沢には昔ながらのサインはほとんど残っていない。以前、広坂の古いハンコ屋に扁額サインがあった。昔は井波の職人のような人たちが削っていて、深みがあり、文字も力強かった。今の扁額サインは、ルーターで文字を削って、職人でない人が作っている。今、作られているものでそういったものはまずない。業界の中に、昔の施工方法をご存知の方もいると思うので、参考にしていく必要がある。

【会長】 この事業に屋外広告業界の方も協力していただけると良い。

【J委員】 はい。私たちより古い世代でないとわからないかも知れない。

【会長】 知見は大事にしておかないと失われてしまう。ありがとうございました。ほかに、アドバイス等ありましたら、お願いいたします。

- 【F委員】 許可不要のものだけが調査対象か。
- 【事務局】 予算案の段階であり未定だが、良いものを評価する趣旨であるため、市内全ての看板を悉皆調査することが目的ではない。景観サポーターが、以前されていた調査報告書も残っているため、こうしたものを活用や、まちなかなどエリアを絞って調べるなど、考えられる。許可済のものを除外する意図はない。
- 【F委員】 了解した。
- 【K委員】 まちの格を高める広告物推進事業、大変素晴らしい。景観誘導は規制側になることがほとんどである中、逆に良いものを取り上げようという具体的な取組で、またアーカイブで残すことも素晴らしい。ぜひ進めていただきたい。どういうところに頼んだら、そういったものが作れるのか。製作者の方や職人さんとの窓口が見えてくるようなアーカイブになると、すごくリアリティがあってよい。せっかく、職人大学校もあり、こういうことを生業にしている人が県内、県外含めているとすると、作る人、技術のあるところにアプローチできるようにいづれなればよいと思う。
- 【事務局】 金沢職人大学校との連携も必要であると考えます。
- 【I委員】 仕事柄、職人と仕事をする機会が多い。コロナで辞めた職人も多く、辞めてしまうと技術は伝承していかない。こうした機会に、有名な方だけではなく、技術を持った方が、クラフト政策推進課の方にも色々おられるので、声掛けすれば良いと思う。職人も売れる必要があるので、この事業は大変良い。5年ほど前、古い看板のコンテストをして、冊子などにまとめてはどうかという話があった。実現はしなかったが、商店にとって看板は店の歴史であり、周知する意味でもぜひやっていただきたい。尾張町商店街ではショーウィンドウのなかに各店舗の歴史的な品物を並べ、それを見ながら、街歩きを楽しんでもらう取組をしている。これは金沢ならではのことで、店にスポットライトを当てるようなことも考えていただきたい。商店に看板は付き物で、目立つほど商店にとってよいが、規制があるということで難しい部分もある。こういうところで協力いただいて、店を盛り上げていただきたい。
- 【A委員】 サイン込みで設計を考える際、良いものと金沢らしいもののテイストをどうすればいいか。会社のコーポレートデザインや、商売らしさ、地域らしさをどう擦り合わせていくか。アーカイブなどがあれば参考にはなるが、金沢らしいクラシックなもの、最近流行のものと、会社らしいものと、どう馴染んでいくか考える際、廣川委員のように専門の方には相談できるが、本当はそういったところも参考となるようなテキストがあればいいなと思って、いつも仕事をしている。しかし、その参考のものに沿ってしまうと今度はデザインの権利がそれぞれにあると思うので、良いものを作りたいと思うが、これを真似していいよということではないので、相談できる場所があればと思っている。

【会 長】 屋外広告物審査会もあるため、その辺りは事前に相談をいただけたらいいと思う。

【D委員】 20年ぐらい前に比べると、金沢市内の景観はすごく良くなっていると思う。こういう景観を良くする取組を、引き続き進めていただきたい。

【C委員】 私もこの取組はすごくいいと思う。「金沢らしさ」がキーワードで、金沢らしさは多様にとらえられていて、写真の例にある店は、歴史、伝統を守る視点が大きく、そういうものがピックアップされてアーカイブになっていくことがイメージされると思うが、「金沢らしさ」はもう一方で、革新や新しいことをやるということがあり、両方セットで金沢らしさだとすると、新しい方の視点で見たとき、それを促すような景観を考えつつも、全国どこでもやっていないような、新しい方もピックアップして、併合していくようなアーカイブ+未来への提案をセットでやった方が金沢らしさは増すと思う。

【B委員】 プランとして想定されていることはどんなことか。例えば学生を動員して、学びの一環として調査することもできると思うが、業者に任せる考えか。

【事務局】 まだ議案の段階であるので、詳細はまだである。

【会 長】 もし学生を動員できるかという話になれば、ご協力いただける可能性はあるのか。

【B委員】 まちづくりということも、テーマとしてあるので、そういうことと絡められるのか。いや学生では考えていないということなのか。

【事務局】 調査には人数が必要であるため、どう確保できるかは今後考える。

4 広告物の掲出状況について

(事務局説明 広告物の掲出状況(非公開)について紹介し、今後実際のまちなみを見て気付きがあれば事務局に知らせてほしい旨を依頼)

【会 長】 お気づきの点があれば、直接事務局にお伝えいただきたい。事務局では、各委員から頂いた意見を踏まえ、次年度も取り組んでいければと思う。

5 閉会

以上